

**製品名: ATP1A3 (5V12) ウサギモノクローナル抗体**

**カタログ番号: AMRe07318**

研究使用のみ

## 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IP 1:20-1:50
分子量	112kDa

## 抗原情報

遺伝子名	ATP1A3
別名	AHC2; Atp1a3; DYT12; RDP;
遺伝子 ID	478.0
SwissProt ID	P13637
免疫原	ヒト ATP1A3 の合成ペプチド

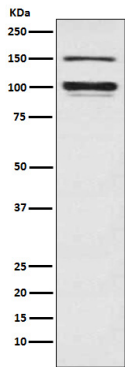
## 背景

これは活性酵素の触媒成分であり、ATPの加水分解と細胞膜を介したナトリウムイオンおよびカリウムイオンの交換を触媒します。この作用により、ナトリウムイオンとカリウムイオンの電気化学的勾配が生じ、様々な栄養素の能動輸送に必要なエネルギーが供給されます。これは活性酵素の触媒成分であり、ATPの加水分解と細胞膜を介したナトリウムイオンおよびカリウムイオンの交換を触媒します。この作用により、ナトリウムイオンとカリウムイオンの電気化学的勾配が生じ、様々な栄養素の能動輸送に必要なエネルギーが供給されます。

## 研究分野

カリウムチャンネル、ナトリウムチャンネル、ATPase、がん

## 画像データ



ラット脳溶解物中の ATP1A3 発現のウェスタンブロット分析。